

## 「介護老人保健施設における感染症に関する状況調査」 (2022年4月～2023年3月)の概要報告

全老健学術委員会では、1996年度より継続的にインフルエンザの発生等に関する実態調査を実施してきました。今般の新型コロナウイルス感染症(COVID-19)(以下、新型コロナ)の流行を踏まえ、2020年10月より調査内容を見直し、「介護老人保健施設における感染症に関する状況調査」として、インフルエンザ、新型コロナ、ノロウイルス感染症(以下、ノロウイルス)を対象とした発症状況調査を、半年ごとに実施しております。

このほど2022年4月～9月ならびに2022年10月～2023年3月の、2調査の結果がまとまりましたのでご報告致します。ご多忙のなか、調査にご協力いただき貴重な情報をご提供下さいました会員施設の皆様に深く御礼申し上げます。

なお、この調査は通年調査として継続実施しておりますので、今後ともご協力を賜りますようお願い申し上げます。

### 【調査概要】

■ 2022年度の上半期を対象とした調査：2022年4月18日付 全老健第4-14号

調査対象： 3,578施設(2022年4月現在の正会員施設)

調査対象期間： 2022年4月1日～2022年9月30日

回収数： 871件

回収率： 24.3%

■ 2022年度の下半期を対象とした調査：2022年10月17日付 全老健第4-170号

調査対象： 3,566施設(2022年10月現在の正会員施設)

調査対象期間： 2022年10月1日～2023年3月31日

回収数： 939件

回収率： 26.3%

## I. インフルエンザ、新型コロナ、ノロウイルスの発生状況について

2022年4月～2023年3月の発生状況(図表1)をみると、

- インフルエンザの発症者数は、2022年11月から「職員」の発症者数が増え始め、2023年1月からは「入所者」と「通所者」の発症者数が増え始め、2023年3月まで発症者数の多い状態が続いた。
- 新型コロナについては、「入所者」、「通所者」、「職員」のいずれにおいても、今回は、2022年8月と12月をピークとして、発症者数が非常に多い時期が2回出現した。このうち、2022年7月～9月はいわゆる第7波、2022年11月～2023年1月はいわゆる第8波と、期を同じくしている。
- ノロウイルスについては、「入所者」と「職員」において、2022年12月から翌年3月に発症がみられた。なお、昨シーズン(2021年12月～2022年3月)の「入所者」の発症率が0.017%～0.068%であったのに対し、今シーズン(2022年12月～2023年3月)の「入所者」の発症率は0.006%～0.173%であった。

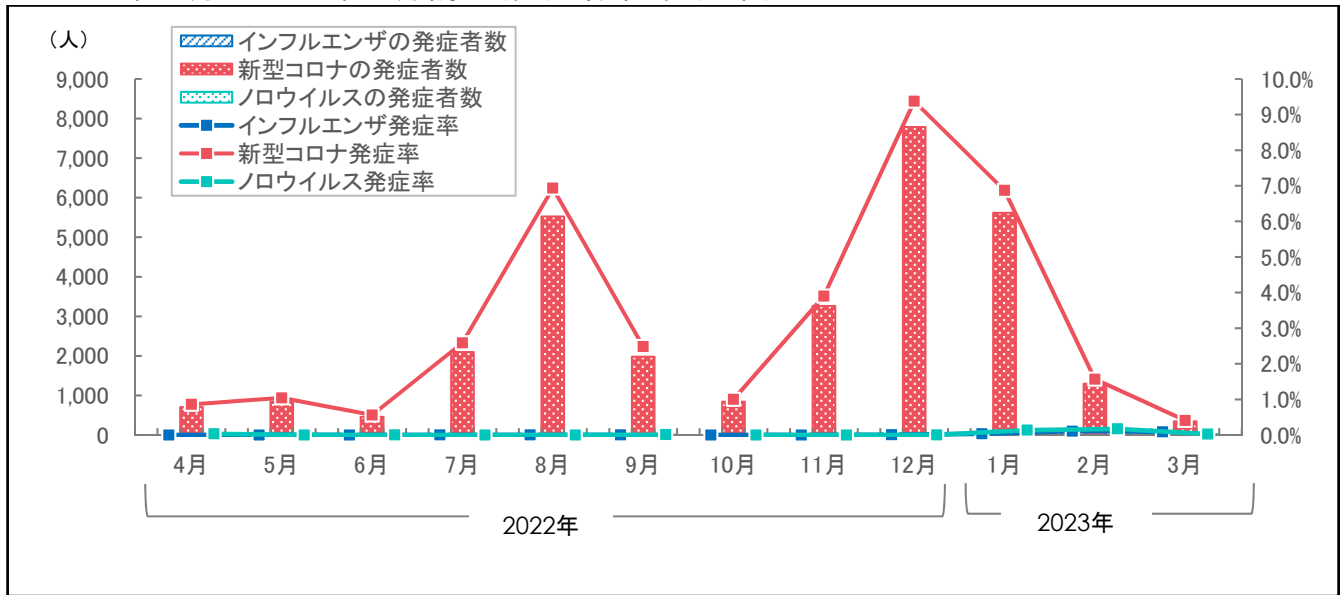
図表 1: 「介護老人保健施設における感染症に関する状況調査」 2022年4月～2023年3月分 発症者数・発症率

※ 2022年4月～9月(上半期)と、2022年10月～2023年3月(下半期)の2調査の結果を並べたものであり、同一施設から提出された一年分のデータを集計した結果ではないことに注意が必要である。

		N=871施設						N=939施設					
		2022年 4月	2022年 5月	2022年 6月	2022年 7月	2022年 8月	2022年 9月	2022年 10月	2022年 11月	2022年 12月	2023年 1月	2023年 2月	2023年 3月
入 所 利 用 者	入所者数	81,706	81,022	81,163	81,130	79,643	79,696	84,273	83,691	83,063	81,763	82,559	83,795
	インフルエンザの発症者数	0	0	0	3	2	2	0	1	6	28	90	76
	インフルエンザ発症率	0.000%	0.000%	0.000%	0.004%	0.003%	0.003%	0.000%	0.001%	0.007%	0.034%	0.109%	0.091%
	新型コロナの発症者数	704	846	457	2,099	5,523	1,981	845	3,263	7,786	5,617	1,296	344
	新型コロナ発症率	0.862%	1.044%	0.563%	2.587%	6.935%	2.486%	1.003%	3.899%	9.374%	6.870%	1.570%	0.411%
	ノロウイルスの発症者数	28	0	2	0	0	9	0	0	5	113	143	22
	ノロウイルス発症率	0.034%	0.000%	0.002%	0.000%	0.000%	0.011%	0.000%	0.000%	0.006%	0.138%	0.173%	0.026%
通 所 利 用 者	通所者数	63,180	63,560	64,442	64,028	61,902	62,474	67,989	67,974	67,070	64,902	65,061	66,124
	インフルエンザの発症者数	0	0	0	2	1	1	0	2	4	23	31	25
	インフルエンザ発症率	0.000%	0.000%	0.000%	0.003%	0.002%	0.002%	0.000%	0.003%	0.006%	0.035%	0.048%	0.038%
	新型コロナの発症者数	85	126	61	571	1,302	504	217	684	1,394	1,119	271	107
	新型コロナ発症率	0.135%	0.198%	0.095%	0.892%	2.103%	0.807%	0.319%	1.006%	2.078%	1.724%	0.417%	0.162%
	ノロウイルスの発症者数	0	1	1	0	0	0	0	0	1	12	3	1
	ノロウイルス発症率	0.000%	0.002%	0.002%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.001%	0.018%	0.005%	0.002%
職 員	職員数	68,006	68,015	68,108	68,137	67,937	67,752	71,663	71,645	71,646	71,373	71,221	71,166
	(常勤)	51,607	51,631	51,689	51,696	51,602	51,474	54,591	54,563	54,555	54,350	54,221	54,191
	(非常勤)	16,399	16,384	16,419	16,441	16,335	16,278	17,072	17,082	17,091	17,023	17,000	16,975
	インフルエンザの発症者数	6	0	0	0	1	2	8	25	42	195	188	197
	インフルエンザ発症率	0.009%	0.000%	0.000%	0.000%	0.001%	0.003%	0.011%	0.035%	0.059%	0.273%	0.264%	0.277%
	新型コロナの発症者数	617	695	327	2,405	4,931	1,653	860	2,456	5,096	3,562	802	225
	新型コロナ発症率	0.907%	1.022%	0.480%	3.530%	7.258%	2.440%	1.200%	3.428%	7.113%	4.991%	1.126%	0.316%
ノロウイルスの発症者数	15	8	2	0	1	1	0	2	8	58	45	17	
ノロウイルス発症率	0.022%	0.012%	0.003%	0.000%	0.001%	0.001%	0.000%	0.003%	0.011%	0.081%	0.063%	0.024%	

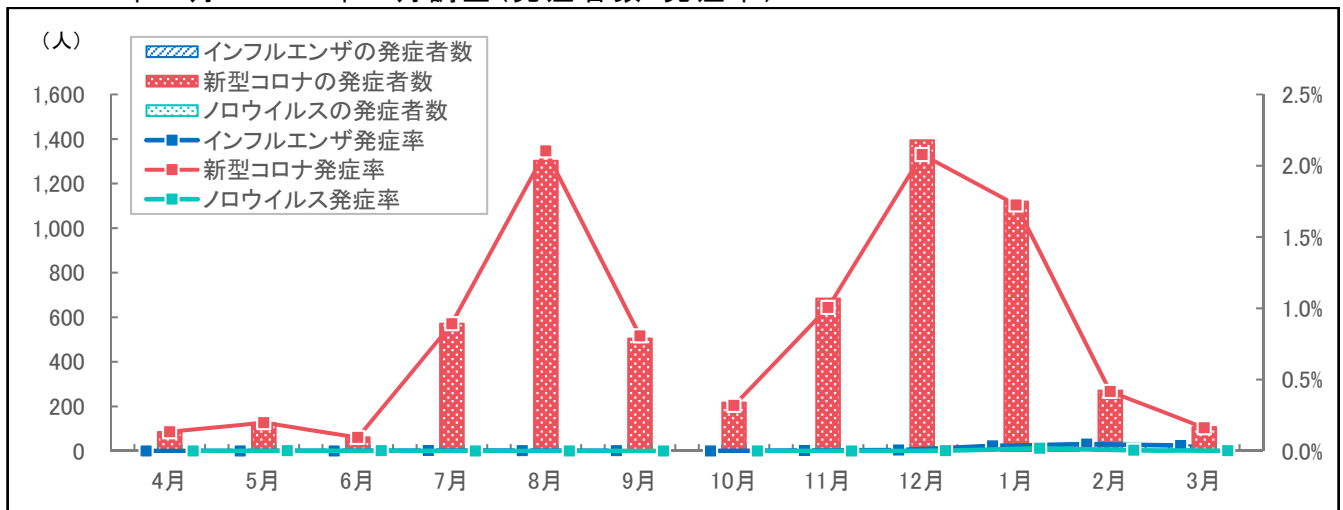
図表 2: 入所者における各感染症の発生状況

2022年4月～2023年3月調査(発症者数・発症率)



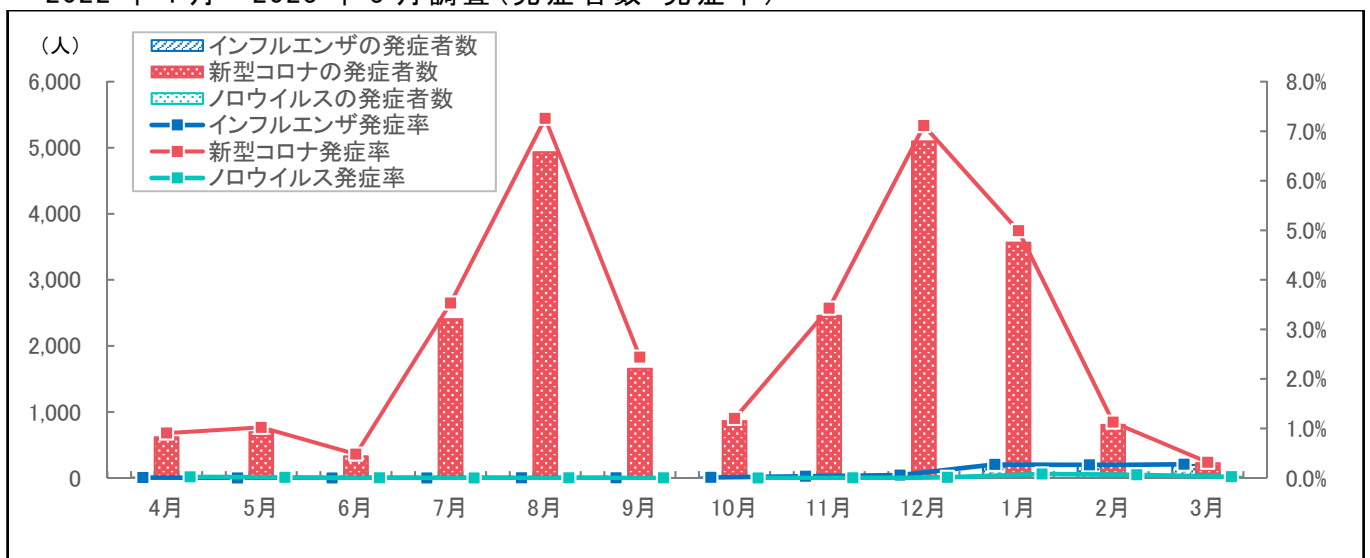
図表 3: 通所者における各感染症の発生状況

2022年4月～2023年3月調査(発症者数・発症率)



図表 4: 職員における各感染症の発生状況

2022年4月～2023年3月調査(発症者数・発症率)

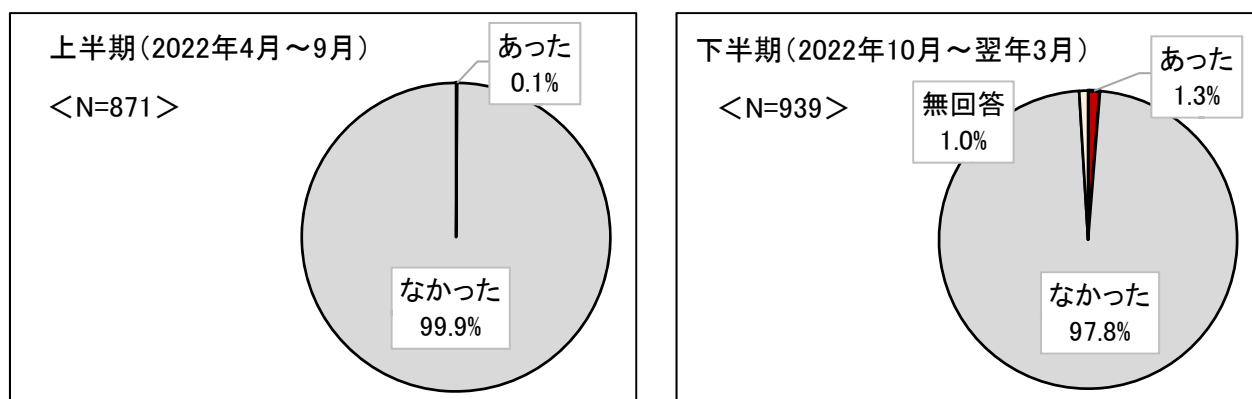


## Ⅱ. インフルエンザ、新型コロナ、ノロウイルスの施設内クラスターの発生状況について

調査対象期間にクラスター(同時期に5名以上発症)があったかについて、上半期(2022年4月～9月)、下半期(2022年10月～2023年3月)の結果は図表5～7のとおり。

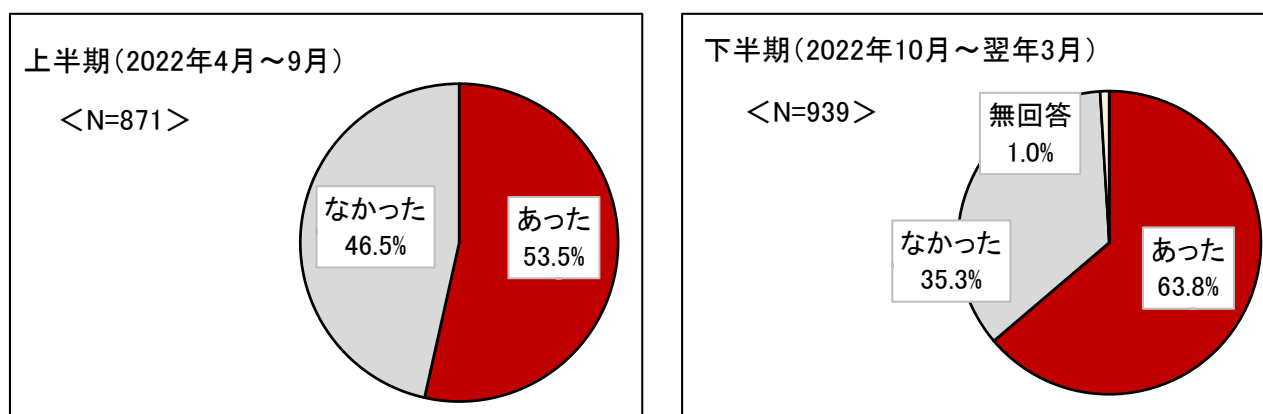
**図表 5: インフルエンザの施設内クラスターの発生状況**

- インフルエンザによるクラスターがあったと回答した施設は、上半期 0.1%、下半期 1.3%であった。



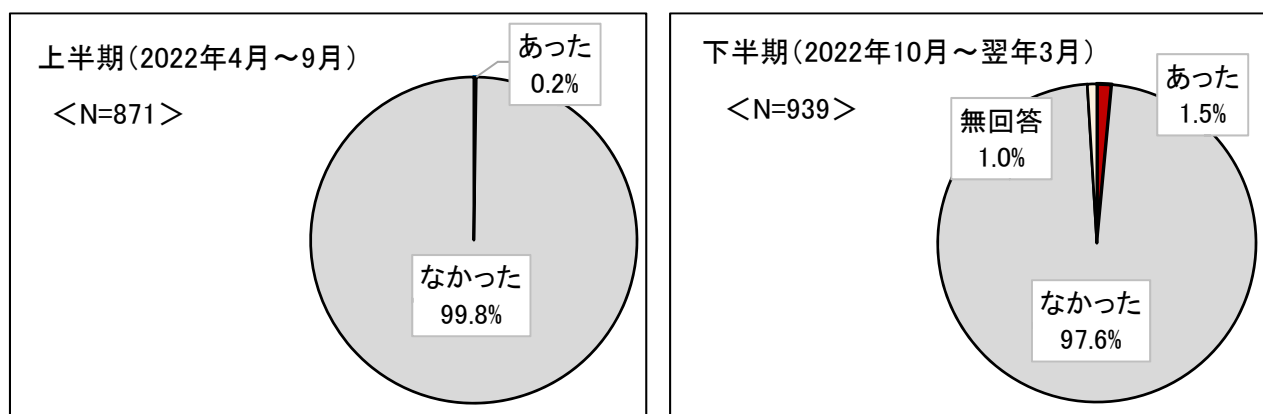
**図表 6: 新型コロナの施設内クラスターの発生状況**

- 新型コロナについては、上半期 53.5%、下半期 63.8%の施設が、クラスターがあったと回答した。



**図表 7: ノロウイルスの施設内クラスターの発生状況**

- ノロウイルスによるクラスターがあったと回答した施設は、上半期 0.2%、下半期 1.5%であった。



### Ⅲ. 2021年10月～2023年3月の18ヶ月間における、インフルエンザ、新型コロナ、ノロウイルスの発生状況について

インフルエンザ、新型コロナ、ノロウイルスの発生状況を俯瞰する目的で、これまでに実施した調査結果と今回の調査結果を連結したものが、次頁の図表8である。

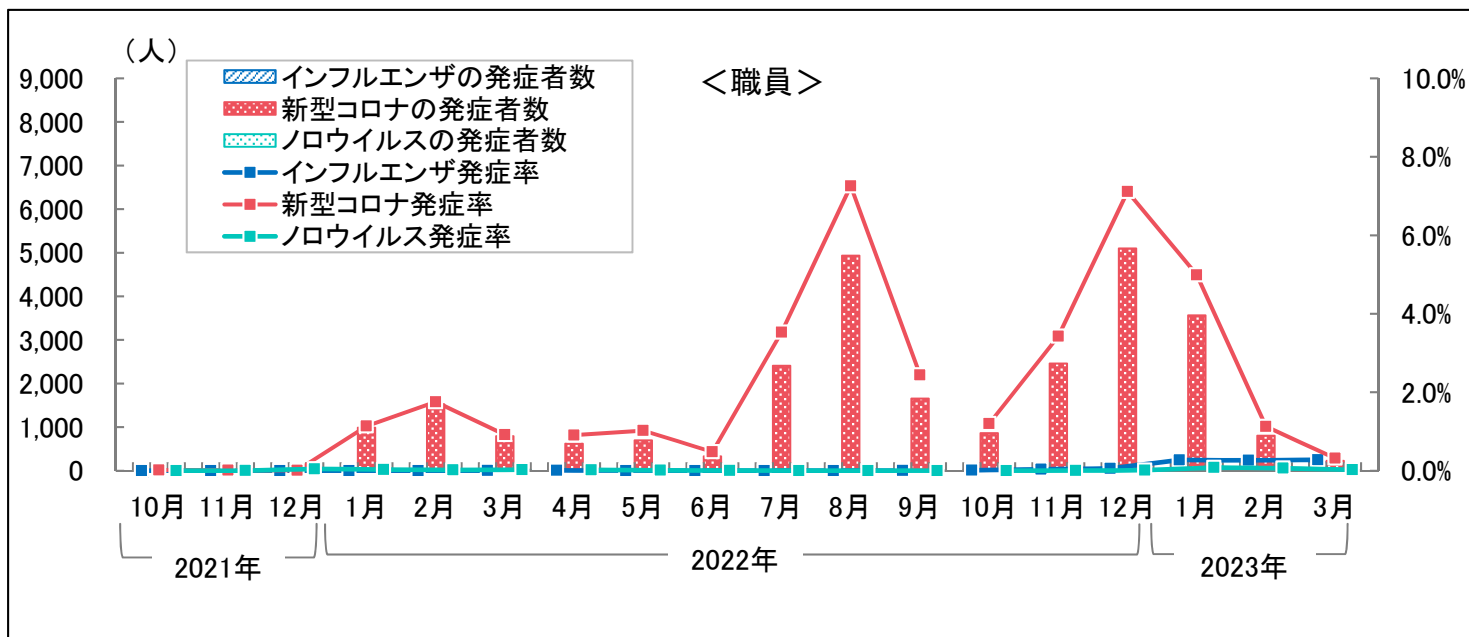
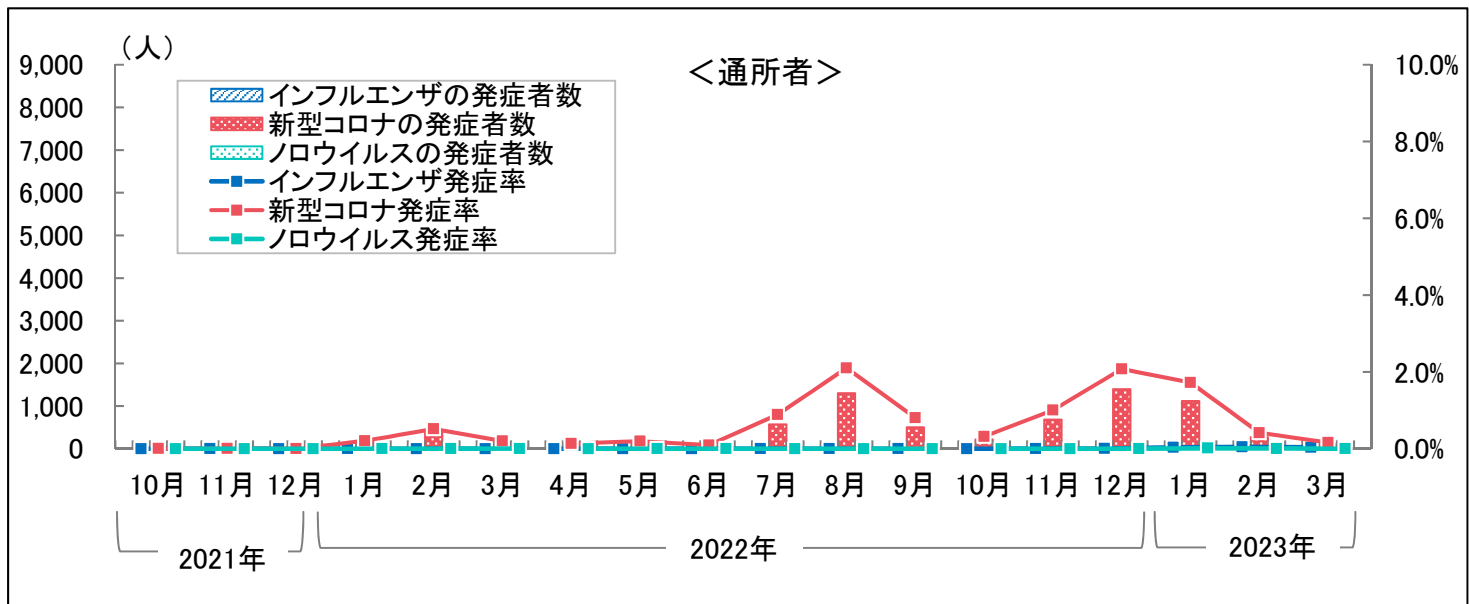
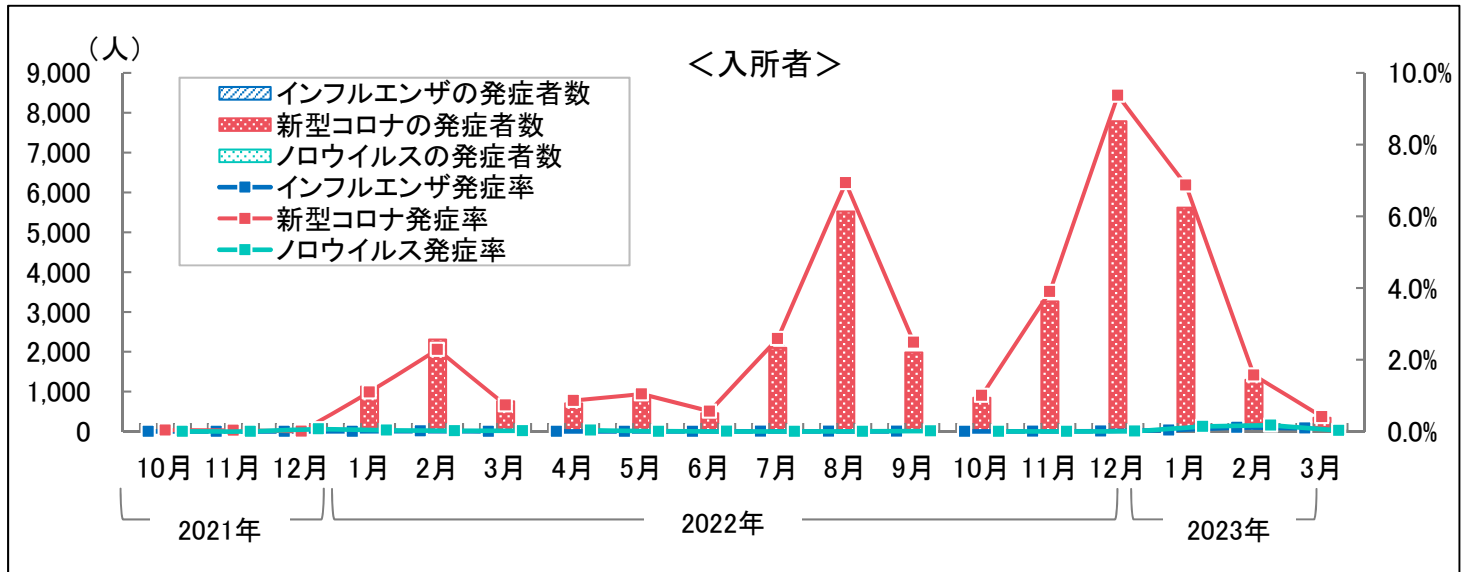
また、図表9はインフルエンザ、ノロウイルスの2感染症の発生状況を再掲している。

<図表8～9の調査対象期間>

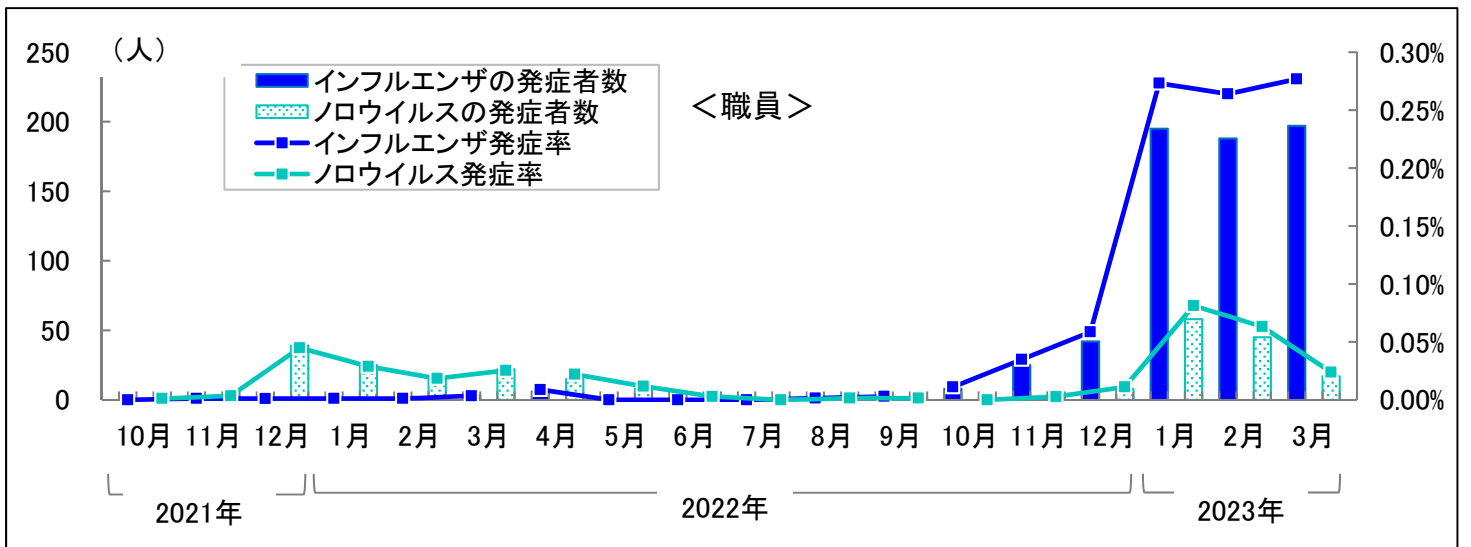
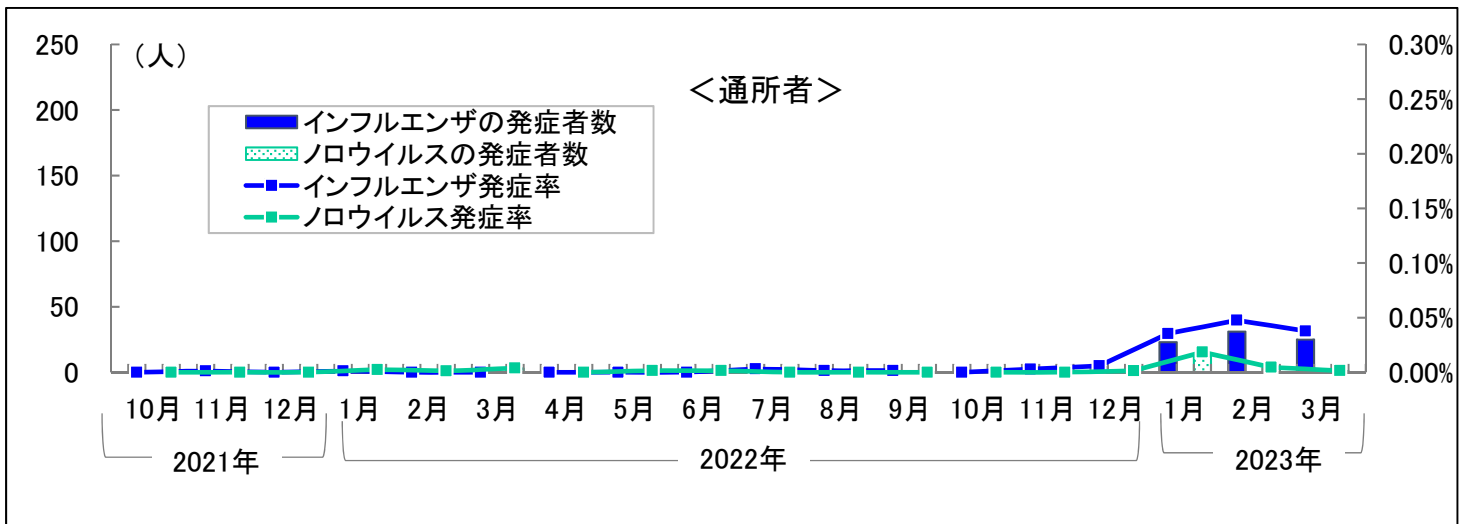
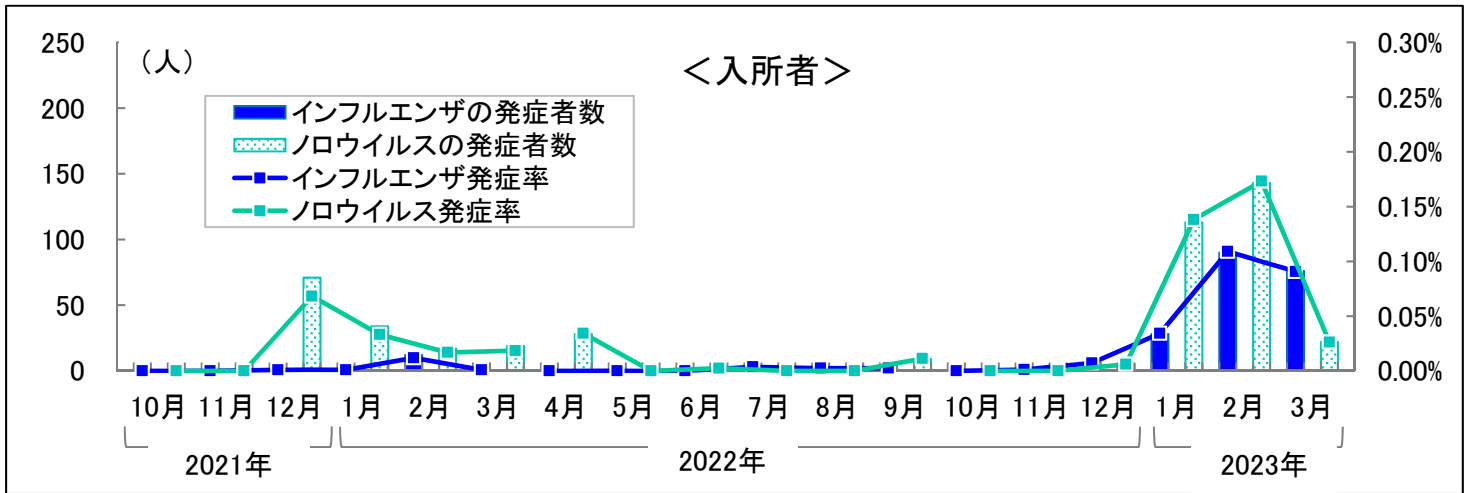
- ① 2021年10月～2022年3月 (N=1,132)
  - ② 2022年4月～2022年9月 (N=871)
  - ③ 2022年10月～2023年3月 (N=939)
- } ②、③は今回報告分

なお、図表8～9は上記①～③の3調査の結果を便宜的に連結したものであり、同一施設からの2021年10月～2023年3月のデータを基に作成したグラフではないことに注意が必要である。

図表 8: 2021年10月～2023年3月の18ヶ月間における、インフルエンザ、新型コロナ、ノロウイルスの発生状況



図表 9: 2021年10月～2023年3月の18ヶ月間における、インフルエンザ、ノロウイルスの発生状況(再掲)





#### **IV. まとめ**

今回の報告は、2022年4月以降の新型コロナ、インフルエンザ及びノロウイルス感染症の発生状況をまとめたものである。

施設におけるクラスター発生状況を見ると、新型コロナについては上半期53.5%、下半期63.8%と過半数の施設でクラスターが発生していた。

インフルエンザは、2020年10月以降2シーズンにわたり、著しく発生が少ない状態が続いてきた。今回の調査でも、2019年度以前に比べれば少ない状況が続いているものの、2022年11月から「職員」の発症者数が、2023年1月からは「入所者」と「通所者」の発症者数が増え始め、下半期には1.3%の施設でクラスターが発生していた。なお、国立感染症研究所によれば、2022年第51週（2022年12月19日から12月25日まで）の感染症発生動向調査で、定点当たり報告数が流行開始の目安となる1.00を上回る1.24となり、流行シーズン入りしたとしている。

一方、ノロウイルスは他の2つの感染症とは若干異なり、毎冬、一定数の発生が報告されている。過去調査と比較すると、2020年10月～2021年5月調査では0.6%、2021年10月～2022年3月調査では0.7%の施設でクラスターが発生と報告しているが、今回の下半期（2022年10月～2023年3月）は1.5%の施設でクラスターが発生しており、過去2シーズンより多かった。

今回の調査では、インフルエンザ、ノロウイルスについて、過去2年間とくらべて発生が増える傾向が確認された。今後は、調査対象の3感染症のほかにも、RSウイルスなどについても注視し、感染症対策をすすめていく必要がある。